

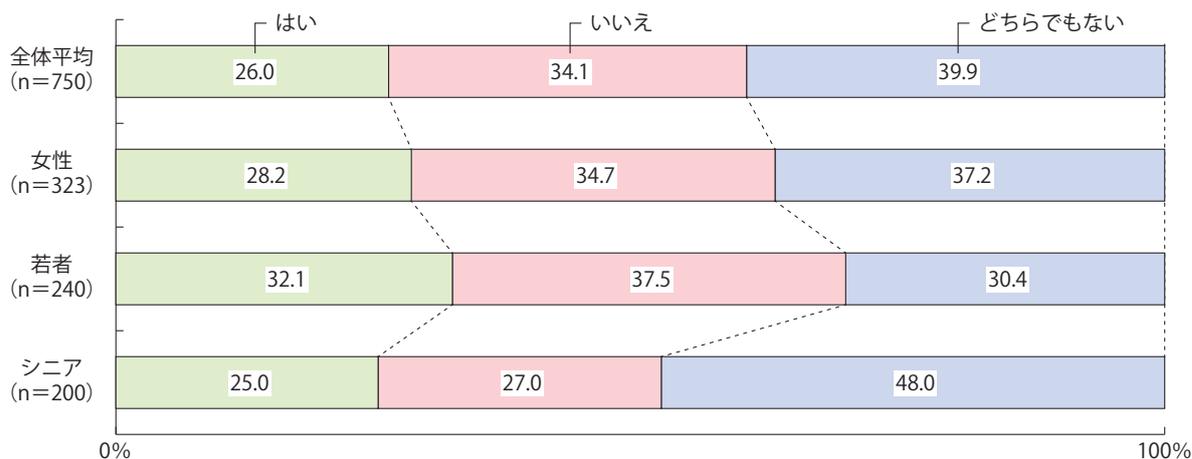
### (3) 起業に関する相談体制の拡充

これまで、起業の「コスト」について見てきたが、次に「手続き」に焦点を当てる。特に、起業の手続き等、起業家が直面する様々な課題に対しての相談体制について考察したい。

### ●相談しやすい環境・体制の構築

まず、起業に関して相談する際に抵抗感を感じるかについて、アンケートを行った(第3-2-43図)。すると、約3割の者が抵抗感を感じると回答し、特に、若者や女性において、その割合が高くなっている。

第3-2-43図 起業に関する相談をすることについて抵抗感を感じるか



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))  
 (注) 潜在的起業希望者に対する回答を集計している。

次に、第3-2-44図にあるように、相談しにくい理由について聞いたところ、全体的に、「起業家、経営者としての能力や素養を否定されることへの不安」、「相談しても、満足いく答えを得られないと思っているから」を選択する割合が高いことが分かった。

こうした結果を踏まえて、起業に関する相談体制に関して、二つ提言したい。一つ目は、起業家、特に女性や若者が相談しやすい環境や雰囲気をつくることに行政や支援機関はもっと配慮すべきということである。例えば、女性起業家のために、

相談窓口女性職員を配置するだけでも、女性起業家にとっては相談しやすくなるのではないだろうか。

二つ目は、行政や支援機関は、起業に関してどのような相談に乗ってもらえるかをあらかじめ具体的に示しておくことである。起業に関する相談として、「満足いく答えを得られない」という理由で相談に訪れない者が約2割存在する(第3-2-44図)。こうした者に対しては、相談に訪れた場合に、どのようなことなら相談に乗れるのかをあらかじめ周知しておくことが必要と思われる。